

信州大学医学部附属病院 皮膚科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2018年11月6日

「皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築と AI 活用診療支援システムの開発」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4208
研究課題名	皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築と AI 活用診療支援システムの開発
所属(診療科等)	皮膚科
研究責任者(職名)	奥山隆平(教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2023年9月30日
研究の意義、目的	全国の医療施設と共同して、皮膚画像のデータ集積を行います。このデータベースは、人工知能(AI)の研究に用います。将来には AI を用いた皮膚疾患の診断補助システムの開発に役立つ可能性があります。
対象となる患者さん	2000年1月1日から2018年5月31日の期間に当院で皮膚疾患の診断や治療を受けた患者さんです。
利用する診療記録／検体	皮膚病変のデジタル写真、臨床情報(年齢、性別、診断に必要な検査データ、治療、転帰など)、病理検査を行った場合は、バーチャスライドシステムにより電子化した標本画像
他機関への試料・情報の提供方法	パスワードロックのかかったハードディスクを介して、筑波大学に設置したサーバ内のデータベースへ登録するかたちで提供します
研究方法	全国の医療施設と共同して、皮膚画像のデータ集積を行いデータベースの構築を行います。データベースを用いて、皮膚疾患の診断補助に有用な AI のシステムを開発します。
共同研究機関名	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 浜松医科大学 皮膚科 教授 戸倉 新樹</li> <li>2. 東北大学 皮膚科 准教授 山崎 研志</li> <li>3. 東京大学 皮膚科 教授 佐藤 伸一</li> <li>4. 慶応義塾大学 皮膚科 教授 天谷 雅行</li> <li>5. 東京女子医科大学 東医療センター 教授 田中 勝</li> <li>6. 日本医科大学武蔵小杉病院 教授 安齋 眞一</li> <li>7. 新潟大学 皮膚科 教授 阿部 理一郎</li> <li>8. 山梨大学 皮膚科 教授 川村 龍吉</li> </ol>

	<p>9. 信州大学 皮膚科 教授 奥山 隆平</p> <p>10. 京都大学 皮膚科 教授 椛島 健治</p> <p>11. 高知大学 皮膚科 教授 佐野 栄紀</p> <p>12. 九州大学 皮膚科 教授 古江 増隆</p> <p>13. 熊本大学 皮膚科 教授 尹 浩信</p> <p>14. 琉球大学 皮膚科 教授 高橋 健造</p> <p>15. 慶応義塾大学 医療政策・管理学 宮田 裕章</p> <p>16. 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 長崎 正朗</p> <p>17. 理化学研究所 革新知能統合研究センター病理解析学ユニット リーダー（皮膚病理 AI 基盤開発コンサルテーションおよび技術指導）</p> <p>18. 理化学研究所 革新知能統合研究センター遺伝統計学チーム リーダー（データ統計分析）</p> <p>19. 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 教授 合田 憲人（クラウド基盤構築）</p> <p>20. 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 教授 佐藤 真一（AI 画像解析研究）</p> <p>21. 東京大学 附属病院 教授 大江 和彦（医療情報管理の観点からの指導）</p>
研究代表者	主任施設の名称: 筑波大学 研究責任者: 藤澤 康弘
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 奥山隆平(皮膚科・教授) 電話: 0263-37-2647

【既存の画像データ、診療記録、検査結果】を研究、調査、集計しますので、【新たな診察や検査、検体の採取】の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報削除し、主任施設である筑波大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。